

陳情第188号	受理年月日	令和6年6月4日
付託委員会	保健福祉委員会	
件名	現行の健康保険証の存続を求める意見書の採択を求める陳情について	
要旨	<p>政府は昨年12月の閣議にて、現行の健康保険証を2024年12月2日に廃止することを決めた。合わせて、マイナ保険証を取得しない人に対し資格確認書を申請なしで送ること、暗証番号のない顔認証マイナカードを導入することとしている。</p> <p>同時にマイナンバー情報の総点検が実施されたが、総点検後においても医療機関でのトラブルが続いている。</p> <p>厚生労働省はマイナ保険証の利用率を伸ばすために、健康保険証を使う患者の医療費の窓口負担を高くし、マイナ保険証利用促進の集中取組月間として医療機関に対し最大20万円を配っている。しかしながら3月時点での利用率は5.47%と低迷している。</p> <p>そもそも、現行の健康保険証を残せば、複雑な仕組みをつくる必要もなく、国民、医療機関の混乱もなくなる。</p> <p>現在、福岡県の自治体（中間市、柳川市、直方市、行橋市、みやこ町、糸田町、鞍手町、田川市、小竹町）も含め全国120の自治体が現行の健康保険証を残すようにとの意見書を採択している。</p> <p>私たちは北九州市内で、北九州市民の命と健康を守るため医療活動を進めている。現行の健康保険証が廃止されれば、自己責任に基づく「申請主義」となってしまう、無保険者扱いの人が増加し、市民の命と健康が脅かされてしまう。</p> <p>添付した団体署名に賛同いただいている北九州市内の多くの医療機関は、現行の健康保険証を廃止することに反対し、市民が安心して医療機関に受診でき、よりよい医療が提供できることを求めている。</p> <p>ついては、貴議会において、別紙の意見書案を採択され、政府等、関係機関に送付いただきたい。</p>	